

1 単元 住みよいくらしをつくる

2 指導計画 (27時間完了)

- (1) 暮らしの中の水とごみ、資源・・・1時間
- (2) 水はどこから・・・・・・・・・・10時間
- (3) ごみのしよりと利用・・・・・・・・10時間
- (4) わたしの時間・・・・・・・・・・6時間 (本時6 / 6)

3 本時の指導

(1) 目標

健康で良好な生活を支える電気の働きや、発電の方法について調べたことをもとに、よりよい発電方法や無駄のない電気の利用方法を考えようとする。(関心・意欲・態度)

(2) 情報活用能力の育成について

日本の今後の発電方法に対する友達との意見交流を通して、自分の考えを広げることができる。

(3) 準備

教師：付箋、「意見交流の決まり」の掲示物

児童：考えキャッチシート

(4) 指導過程

時間配分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
2分	1 本時の学習活動を把握する	○ 「考えキャッチシート」を使って意見交流することを確認させる。
33分 (3分)	2 考えキャッチシートを活用して、日本の今後の発電方法について友達と意見交流する。 (1) 考えキャッチシートを使うときの決まりを確認する。	○ 「考えキャッチシート」を使って意見交流を行うときの決まりを確認させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>意見交流の決まり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の人の意見や考えに、賛成や反対などの意見や質問などを、付箋紙に貼って、矢印でつなぐ。  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">賛成…青、反対…赤、質問…黄、答え…緑</span></li> <li>・ 発言の時には、他の児童は手を止め、話を聞くようにする。</li> <li>・ 同じ内容でもかまわないので、書き始めた内容は書き、発言して考えキャッチシートに貼り付ける。</li> </ul> </div>
(15分)	(2) 考えキャッチシートを活用して、一人目の考えを基に意見交流をする。	○ 考えキャッチシートを書いた本人に、初めの考えを発表させ、そこから話し合いを始めさせるようにする。 ○ たくさんの意見や考えができるように、意見や質問を出すことに肯定的な助言をする。 ○ 自分と違う考えや、新しい視点の考えがあれば、それに注目するように声を掛ける。

<p>(15分) 8分</p>	<p>(3) 二人目の考えを基に意見交流をする。 3 友達の考えを取り入れて、自分の考えを広げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合いが停滞したグループには、児童の話し合いが活性化されるような意見や質問を教師が与える。</li> <li>○ 前回と同じ意見でも、出してよいことを伝える。</li> <li>○ 全員に自分の考えキャッチシートを出させる。</li> <li>○ 取り入れる考えや意見に優先順位を付けさせ、番号を①、②と書かせる。</li> <li>○ 取り入れる考えや意見を考えキャッチシートの「取り入れる考え」の所に書かせ、取り入れようと考えた理由も書かせる。</li> </ul>
<p><b>評価事項</b></p> <p>日本の今後の発電方法に対する意見交流を通して、自分の考えを広げて、新しい自分の考えとして書くことができている。 <span style="float: right;">【考えキャッチシート】</span></p> <p>□…教師が反対意見や新しい視点の意見を一緒に探すことによって、友達の考えを取り入れて、自分の新しい考えを書かせる。</p> <p>☆…なぜその考えを取り入れることにしたのか、初めにもった自分の考えと比べて理由を書かせる。</p>		
<p>2分</p>	<p>4 意見を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 始めの考えからどう変わったかを発表させるようにさせる。</li> </ul>

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動